

第 82 回大分県発明くふう展
作品説明書

記入不要

【作品名】

危険度お知らせ装置

【発明のポイント】(発明のきっかけ、特徴、くふうした点、苦労した点など)

高温によって熱中症になるニュースがあり視覚や音で危険を気づけられるようにしたいと思ったからです。

温度計が付いているため現在の温度が分かります。

コンパクトなので室内や車内で使うことができます。

光と音で知らせるので高齢者や目の不自由な人でも使うことができます。

【使い方・説明図】(絵や写真などを使用してもかまいませんので使い方をわかりやすく説明してください。)

使い方

電源を入れると温度が表示され熱中症になる危険性がある温度になると1つランプが付きます。

それでも温度が上がり続けると2つ目のランプと音で知らせるので光と音で危険な温度に達していることを知ることができます。

◆作品制作者◆

学校名	大分県立国東高等学校 (1年)	氏名	久保 佑樹
学校名	大分県立国東高等学校 (3年)	氏名	栗林 翔津希
学校名	大分県立国東高等学校 (1年)	氏名	上野 陽菜

※ 「作品説明書」は「応募用紙」と併せて大分県発明協会事務局へ郵送または FAX にて提出ください。

※ 植物・動物・食品等の持ち込みが必要となる作品の出品はできません。